

ウィザス

「ウィザス」はウィズアス = with us "共に生きる一男女共生社会" の理念を表しています。

特集 6/23～6/29 は男女共同参画週間です！

寄稿 居座る性別役割分担意識

～ どう解消するかが
男女共同参画社会形成のポイント～
一般財団法人女性労働協会 会長 鹿嶋 敬さん

高度経済成長期は、夫が働き妻は家を守るという性別役割分担が一般的でした。80年代に入ってもそれが続き、同年代半ばくらいまでは共働き世帯600万～700万世帯に対し、専業主婦世帯は1,000万世帯を突破していました。

90年代に入ると変化が見え始めます。1992年には専業主婦世帯903万世帯に対し共働き世帯が914万世帯と、逆転します。その後は入れ替えがあったりしますが、97年以降は共働き世帯が専業主婦世帯をしのぎ、現在は後者が575万世帯に対し、前者は1245万世帯（2019年）。圧倒的な夫婦共働きの時代と言えるでしょう。

男女共同参画社会基本法（以下、基本法と略称）は、共働きが一般化した1999年に制定、施行されました。同年6月に法案が国会を満場一致で通過したのですが、制定後、ごく一部に「大変な法律を通したのではないか」という反発がありました。私は当時、新聞社で編集委員として取材等を行っていたのですが、「みんなに働けと言っている危険な法律だ」などと言う政治家もいました。

施行当初はそのような誤解・曲解を招いた基本法も、施行後21年が経過しました。おとな、になったのです。では、先に掲げたような誤解も解け、生活に浸透しているか、といえば、必ずしもそうとは言えません。

誤解・曲解は減ったと思いますが、同法がアピールする趣旨は必ずしも理解され、実践されているとは思っていません。一番の問題は何かといえば、固定的な性別役割分担意識の解消が進んでいないことです。

基本法は男女が「自らの意思」で、かつ「社会の対等な構成員」として、あらゆる分野における活動に参画できることを目指しています。その中の一つが、家庭内の参画です。「(夫と妻) 相互の協力と社会の支援」の下、子育てや介護などの役割を「円滑に果たす」こと、平たく言えば、家事や子育ては夫婦の「協力」で行わなければなりません。

それができているとは思いません。今、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に「反対」する人は、女性は63%、男性は55%です（2019年度「男女共同参画に関する世論調査」内閣府）。反対派の比率は調査をするごとに増えていますが、未だに3割強の女性、4割近い男性は性別役割分担に賛成、すなわち家庭を守るのは女性の役目、と考えています。

その結果、どうということが生じているでしょう。例えば男性は正社員、女性は非正社員という働き方の男女間格差などは、その一例と見ることができます。多忙な正規雇用の仕事は男性が中心になり、女性は家庭との両立を図りながら非正規雇用の仕事をする。一部の事業主も、そのような視点で求人を行う一。

このような状況である限り、女性の活躍推進などの標語を掲げたところで成果は望めないと思います。自立して働きたいと思う女性の中には、非婚を選択する人も増えるでしょう。共働きの時代というのは大黒柱が二本の時代であり、そのような中では、これまでの男女のあり様を変えなければなりません。

かつて仕事に精を出す女性を「女のくせに」「女だてらに」などと言う人がいました。今は家事や育児に精を出す男性を「男のくせに」「男だてらに」と揶揄する人がいるかもしれません。男女共同参画の時代にあっては、このような「くせに」「だてらに」の「に」付けの発想を変えなければなりません。煮付け、いや、「に」付けばかり“食”してはだめなのです。

2019年に出版した拙著『なぜ働き続けられない？ 社会と自分の力学』（岩波新書）には、「おわりに」に次のような一文を添えました。「いまこそ固定的な性別役割分担意識を解消し、男女双方、『自らの意思』が尊重される社会を作らなければならない」

Profile

日本経済新聞編集委員兼論説委員、実践女子大学教授等を経て、2015年から現職。政府の男女共同参画会議議員、第4次男女共同参画基本計画・計画策定専門調査会会長等を歴任。著書に新刊『なぜ働き続けられない？ 社会と自分の力学』等がある。



特集 6/23～6/29 は男女共同参画週間です！

内閣府では「男女共同参画社会基本法」の公布日である6月23日からの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。なかなか外出ができないこの期間に、読書で男女共同参画について考えを深めてみませんか。市民編集委員が今読んでいただきたい、おすすめの4冊をご紹介します。



ジェンダーについて大学生が 真剣に考えてみた

—あなたがあなたらしくいられるための29問



一橋大学社会学部 佐藤文香ゼミ生一同 (著)
明石書店 [2019年発売]

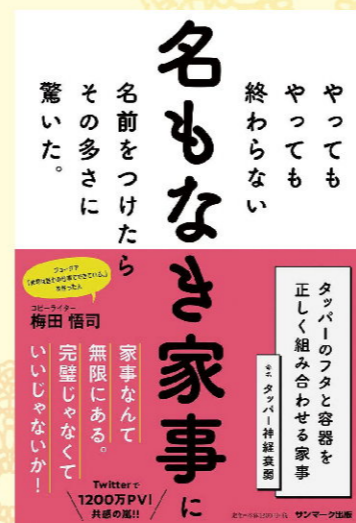
素朴な疑問からはじめるジェンダー事始め

ジェンダー研究のゼミに所属している学生がまとめたジェンダー入門書です。友人や家族などから尋ねられた、ジェンダーに関する素朴な疑問に、どう答えればよかったのか悩んだことが執筆のきっかけだそうです。質問と回答の形で書かれ、回答部分は「ホップ(初心者向け)」「ステップ(中級者向け)」「ジャンプ(上級者向け)」の三部構成になっています。

「ジェンダーを勉強したら、イクメンにならなくちゃいけないでしょ?」「子ども産めないのに、同性婚って必要あるの?」「どうしてフェミニストは萌えキャラを目の敵にするの?」「女性専用車両って男性への差別じゃない?」「性暴力って被害にあう側にも落ち度があるんじゃない?」など、タイムリーな質問が多く、それに応じてどのようにして理論的に回答しているか、興味深く読み進めることができます。ところどころに散りばめられたコラムにも共感でき、巻末の読書案内も参考になります。

ジェンダーについて考えることは、女性だけの権利を守るためではありません。男性も女性も、そして性別を超えて、あらゆる人々が心豊かに生きることができるために必要なのです。

やってもやっても終わらない 名もなき家事に名前をつけたら その多さに驚いた。



梅田悟司 (著)
サンマーク出版 [2019年発売]

メディアでも話題!多くの読者の共感を生んだ家事エッセイ

本屋でも目を引く題名、思わず手に取り中を見てしまう、さすがコピーライターの著作です。「買い物メモを書いたのに家に忘れてきてしまい記憶をひもときながら買い物する家事」「水の流れが悪く排水口のゴミ受けを見ると予想以上に汚れがひどく、強めに水を当ててそっとフタを閉じる家事」など、自分の事かと思えました。

コロナ自粛で家にいる時間が長くなり、あらためて家事とは、こんなに細かいことがあるのだと思った方が多いのではないのでしょうか。この本に出てくる家事はどれを読んでも、思わずくすくす笑ってしまいます。そうそうと思ったり、うちはちょっと違うと思ったり。

著者が「はじめに」で書いているように、名もなき家事がいかに多いことか。それに名前をつけることで見える化をし、家族の話し合いのきっかけになればと言われています。家を快適に保つ家事に終わりはなく、それは当たり前のことではないと、昨今の社会情勢で再認識したのではないのでしょうか。

巻末のチェックリストを見て、それをしてくれている家族をほめ、感謝をしましょう。そして自分のできることを分担しましょう。さあ、あなたも名もなき家事に名をつけ、家事の担い手に!

殺伐とした世界の今、心優しいSFが必要です

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振っています。家に閉じこもり、心身ともに憂鬱になりそうなこの時期に最適な本が、この『となりのヨンヒさん』です。

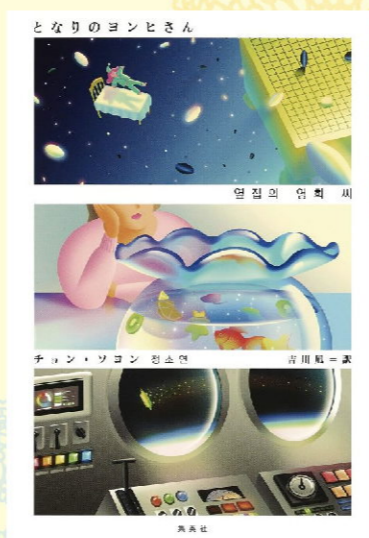
韓国の著名な作家で、社会的弱者の人権を守る弁護士でもあるチョン・ソヨンさんの書いたSF短編集で、各話読んでいくうちに、心はすっかり宇宙に解き放たれること請け合いです。

テーマは異文化交流、LGBT、フェミニズムなど多岐にわたっていますが、特に『最初ではないことを』という一編がおすすめ。ストーリーは以下の通りです。“中学生の時から十数年の付き合いになる友人が中国に語学研修に行き、しばらくして突然電話をしてきた。ひどく動揺したようです。伝染病にかかって入院しているという。免疫システムのウイルスが原因かもしれないけれど、まだ詳しいことは分からないという友人のことに、主人公は驚く。じきに中国北部で猛威を振るう伝染病がマスコミに報道されるようになる。”

現在の新型コロナウイルスの感染のようすに酷似していて驚きました。

この友人は病気に立ち向かうためにどんな選択をするのでしょうか。それを受け止める主人公の心は?タイトルの意味を知った時、あなたは誰を思い浮かべますか。

となりのヨンヒさん



チョン・ソヨン (著) 吉川 凧 (訳)
集英社 [2019年発売]

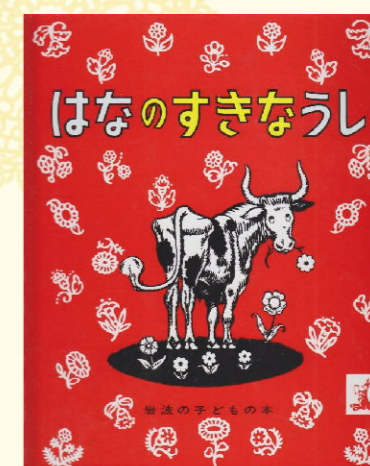
飄々と、自分の気持ちに正直に生きる牛の話

文字は全てひらがな、絵もモノクロの素朴な絵本です。昔、この本を読んだとき、お花が好きな牛もいるよね、というそのままの感想しかありませんでした。ただ「他の牛と違って、この子の好きなようにさせよう」というお母さん牛がとても印象に残りました。そして何十年かぶりに読み返してみると、なんて深い!

主人公は花が大好きで、闘牛には全く関心がないスペインの雄牛。他の子牛は、「マッチョな」牛になることを目標にしています。そして世間も、雄々しく、闘牛士と戦う牛を高く評価しています。大きくたくましく、いかにも闘牛にふさわしい牛に育ってしまった主人公。大きな雄牛なので、大闘牛としてデビューさせられますが、ただ花にだけ興味を示し、全く戦いません。声高に戦うことを拒否するのではなく、飄々としているのが、かっこいい。

そして、「使えない牛」として牧場に戻され、相変わらず、いつもの木の下で花の匂いをかいで、とっても幸せです、と物語は終わります。こんな風に、社会での評価なんて全く気にせず、ごく自然に自分らしく生きたいなあ。家族みんなにおススメの1冊です。

はなのすきなうし

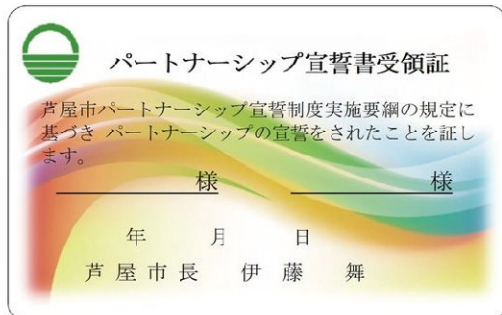


マンロー・リーフ (作) ロバート・ローソン (絵)
光吉夏弥 (訳) 岩波書店 [1954年発売]

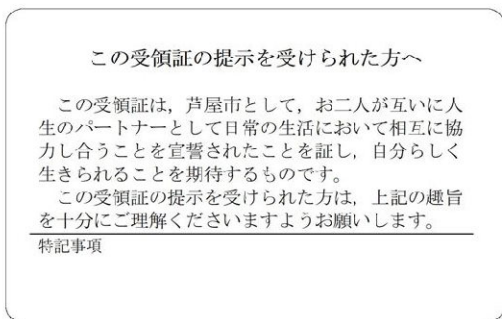
『芦屋市パートナーシップ宣誓制度』がはじまりました

芦屋市では、多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指し、5月17日から「パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。

【見本】「パートナーシップ宣誓書受領証」



(表 面)



(裏 面)

5月17日は世界保健機関（WHO）が同性愛を国際疾病分類から除外した日で、日本では、2014年から「多様な性にYESの日」として認定されています。

😊 パートナーシップ宣誓制度とは

互いを人生のパートナーとして、日常生活で協力し合うことを約束した性的マイノリティのかたへ宣誓に基づき、市が「パートナーシップ宣誓書受領証（見本参照）」を交付します。法的効力はありませんが、性自認や性的指向が他の人と異なることに生きづらさを感じ、またパートナーを家族として認められてこなかったかたがたへの人権尊重を目的とした制度です。

😊 芦屋市で受けられる公的サービス

- ★ 災害見舞金の支給
- ★ 犯罪被害者等への遺族支援金の支給および日常生活の支援等
- ★ 市営住宅の入居申込
(本年8月の申し込みから利用できる見込み)

パートナーシップ宣誓制度
についてより詳しく知りたいかたは
こちらから ➡



芦屋市
人権・男女共生課
ホームページに
入ります

秘密厳守

女性相談

面接相談

無料相談・予約専用電話 38-2022【要予約】

心の悩み相談
(1人50分)

6月5日・12日・26日、
7月3日・10日・31日、
8月7日・14日・28日

いずれも金曜日

午前10時～午後4時

家事調停相談
(1人50分)

6月19日(金)
7月17日(金)
8月21日(金)

いずれも

午前11時～午後4時

法律相談
(1人30分)

6月3日(水)
7月11日(土)
8月5日(水)

いずれも

午後2時～4時

★一時保育あり・無料（事前予約必要）★ 相談日は現時点での予定です（随時変更あり）

編集後記

娘がケーキを焼いている。出来上がったのはレモンパイ。昨日はパウンドケーキを焼いていた。本人曰く、明日は友人と「オンライン飲み会」ならぬ「オンラインお茶会」だそう。コロナ自粛で様々な制限が必要だが、工夫して生活を楽しむこともまた、大切だ。今は会えない人たちに、また笑顔で会えますように。(菅)

ウィザス

No. 101

令和2年6月発行（夏号）

企画・執筆

市民編集ボランティア

編集・発行

芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

芦屋市男女共同
参画センターHP

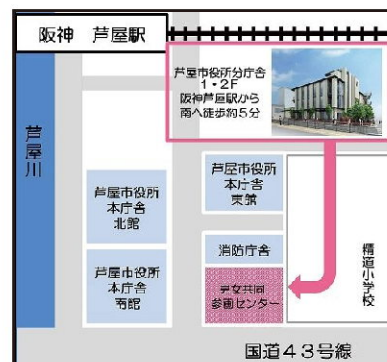
〒659-0064 芦屋市精道町8番20号（市役所分庁舎1・2階）

TEL：0797-38-2023 / FAX：0797-38-2175

Eメール：josei-ce@city.ashiya.lg.jp

■開館：月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分

■休館：日曜日・祝日・年末年始（12月28日～1月4日）



国道43号線

配偶者やパートナーからの暴力に悩んでいるかたへ ひとりで悩まず、お電話ください。【秘密厳守】

芦屋市DV相談室 TEL：0797-38-9100 月～金（祝日、年末年始を除く）9：00～17：30（12：00～12：45を除く）